

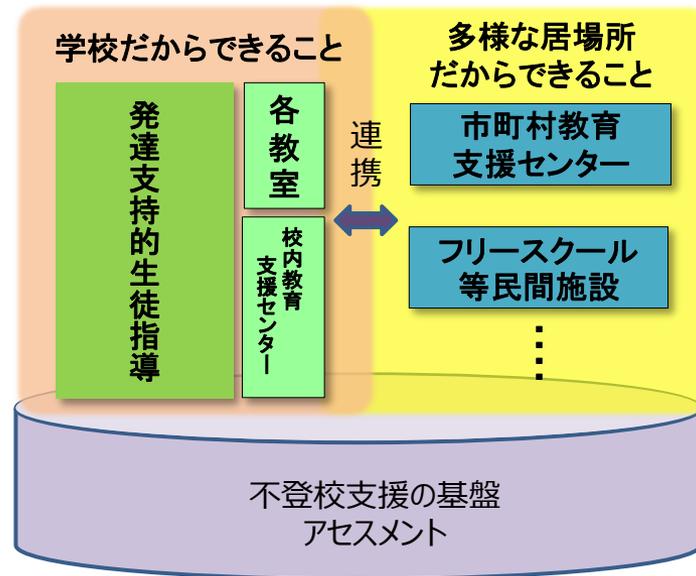
第5分科会 小中学校における不登校支援の在り方

～学校だからこそできる「学び」と多様な居場所だからこそできる「学び」を探る～

大阪府教育庁市町村教育室
小中学校課生徒指導グループ

**今、問われる「学校だからこそできること」、「多様な居場所だからこそできること」
そして、子ども一人ひとりに合った支援につなげるためのアセスメントの在り方を探ります！**

不登校が低年齢化している傾向や、一旦不登校になると次の学年でも継続する傾向から、今後、不登校になる子どもはますます増加する可能性があります。そこで、今学校に求められる、魅力ある学校に向けた**発達支持的生徒指導の実践発表**及び、多様な居場所での個々に応じた支援として**ICTを活用した取組み**や、**フリースクール等と学校との連携に関する実践発表**を行います。また、これらの取組みを子どもに合った支援とするために不可欠なアセスメントの方法として、**いつでもどこでも短時間でアセスメントを深める機会の持ち方等**について講演いただき、明日からの**実践のヒントとなる取組み**をお伝えします。



実践発表

**学校だからこそできる「学び」
多様な居場所だからこそできる「学び」**

1. 魅力ある学校づくり～発達支持的生徒指導の取組み～(小中学校より)
2. メタバース空間等ICTを活用した取組み(市町村教育支援センターより)
3. フリースクールでの「学び」と学校との連携(フリースクールより)

講演・ ワーク

**不登校支援の基盤となる
アセスメント**

「不登校児童生徒へのアセスメントに基づいた
チーム支援の在り方」
立命館大学 教授 野田 正人 (大阪府教育委員会SSWSV)